

## 2019年度 第3回幹事会 議事録

日時：2019年12月6日（金）13：00～15：00

会場：大阪科学技術センター 7階700号室

出席者：56名

### 1. 前回幹事会議事録承認の件

前回議事録（資料 No.1）を確認し、修正などが必要であれば申し出るよう、茶山支部長から指示があった。異論はなく、前回議事録が承認された。

### 2. 本部関係報告

#### （1）本部理事会報告

資料 No.2 に基づき、石濱副会長に代わり、茶山支部長より、今期の財政状況について会費と広告費の減少と、人件費の状況について報告があった。予算削減案として、ぶんせき誌の電子化ならびに本部事務局の支出の明確化の検討中であることが説明された。

#### （2）「ぶんせき」編集委員会報告

編集委員の床波委員より、資料 No.3 に基づいた説明があった。記事について順調に集まっており、2020年8号の「話題」のみ担当者が未定であるため、今後の協力依頼とともに、執筆希望の際には、床波委員まで連絡する様に依頼があった。

#### （3）「Analytical Sciences」編集委員会報告

編集委員の岡本委員より、資料 No.4 に基づいた説明があった。Analytical Sciences の知名度向上に向けた新たな取組みとして、発刊アナウンスをメール配信のみではなく、Facebook や Twitter を検討していることや、HPLC KYOTO におけるブース展示とノベルティ頒布、日本化学会誌への広告を検討中であることが説明された。また、Analytical Sciences 査読賞の受賞者の決定について報告があった。

#### （4）「分析化学」編集委員会報告

編集委員の諏訪委員より、資料 No.5 に基づいた説明があった。「分析化学」誌の改革について検討中であり、刊行回数を年間8回と削減すること、投稿審査について全て Web を使用すること、論文作成支援制度を開始すること、別刷りに代わって掲載料を徴収することが報告された。

### 3. 近畿支部議事

2019年度 支部事業中間報告

資料 No.6 に基づき、吉田庶務幹事より、前回報告以降、3 回の提案公募型セミナーならびに 2 回の役員選考委員会等が開催されたことが報告された。また、次年度の常任幹事会と幹事会について、3/13 および 4/10 に予定されているとの説明があった。

#### (1)ぶんせき講習会

久本実行委員長より、資料 No.7 に基づき、基礎編（その 1）、基礎編（その 2）、実践編、発展編の全ての講習会が終了したことが報告された。将来の講習会の形式として、予算や収益性を考慮し開催回数などを検討していくことが説明された。

続いて、次期実行委員長の安川氏より、資料 No.8 に基づき、2020 年度の実行委員の体制と準備状況について説明があった。基礎編（その 1）、基礎編（その 2）において、講師及び内容について確定し、会告に掲載予定であることが報告された。

末吉庶務幹事より、基礎編（その 1）ならびに発展編の会場費について質問があり、久本実行委員長より、これらの講習会の会場となる大阪府立大学の I-site なんばの会場費については、同大職員の名義により減額措置を受けていることが説明された。

#### (2)支部講演会 WG

資料 No.9 に基づき、責任者の塚越氏の代理として、吉田庶務幹事より、本年度は 4 月および 7 月に開催したことが報告された。また、本幹事会後に第 3 回の支部講演会を企画していることが説明された。2020 年度 4 月の第 1 回支部講演会では、下条晃司郎氏（原子力機構）と北出達也氏（京都薬科大学）の講演が予定されている。

#### (3)提案公募型セミナーWG

責任者の山口氏より、資料 No.10 に基づき、本年度 3 件のセミナーが開催され、支援を行ったことが報告された。

#### (4)ホームページ&ニュース WG

責任者の松本氏より、資料 No.11 に基づき、既にぶんきんニュース 47 号の発行を終え、次号 48 号について、2020 年 1 月 28 日に発行予定であることが説明された。また、近畿分析技術懇話会の法人会員の依頼により、無料広告 1 件を掲載したことについて報告があった。

#### (5)平成夏季セミナー

責任者の森澤氏より、資料 No.12 に基づき説明があった。「近畿支部夏季セミナー」を 8/1(木)-2(金)にアイ・アイランド（大阪府四條畷市）にて開催し、参加者は 66 名となり盛況に開催されたことが報告された。

また、次期責任者の東海林氏より、資料 No.13 に基づき、2020 年 8/1(土)-2(日)に、淡路

島津名ハイツにて開催予定であることが説明された。本会場について、参加者が 80 名を超えると貸切りが可能であるとの説明があり、多数の参加について呼びかけがあった。

なお、末吉庶務幹事より、若手交流会の補助金について、年度によって金額が変動することがあるとの意見があった。

#### 4. 2019 年度近畿分析技術研究奨励賞選考結果報告

吉田庶務幹事より、選考委員会による選考結果について説明があった。令和元年度近分懇研究奨励賞として、奈良県薬事研究センターの西原正和氏、紀本電子工業株式会社の北山紗織氏の 2 件が選ばれたことが報告され、異議無く承認された。

#### 5. 2019 年度 支部会計中間報告

牧会計幹事より、資料 No.14 に基づき、2019 年度の支部会計の状況が報告された。前年度に開催された近畿支部創設 65 周年記念事業ならびに中部支部との合同開催となった平成夏季セミナーに関連する科目にて増減額が大きくなったが、例年通りの金額であることが報告された。また、幹事会等後の懇親会費用について、今年度より、正味財産増減計算書の雑収入に組み込まれたことが説明され、異議無く承認された。

#### 6. 2020 年度 支部役員体制

茶山支部長より、資料 No.15 に基づき、2020 年度の支部役員（案）の紹介があり、次期支部長として、兵庫県立大学の村松康司氏、新任の常任幹事として、石切山一彦氏、大阪大学の岡本行広氏、京都教育大学の向井浩氏、紀本電子工業の北山紗織氏、理化学研究所の川井隆之氏、近畿大学の山本佐知雄氏、甲南大学の岩月聡史氏、日立ハイテクサイエンスの山口英一氏、新任の参与として京都大学の加納健司氏、新幹事として、信和化工の小林宏資氏、京大化研の下赤卓志史氏、サントリーMONODUKURI エキスパートの鳥羽真由子氏、堀場アドバンステクノの西尾友志氏、支部選出の分析化学誌編集委員として、京都大学の久保拓也氏、Analytical Sciences 誌編集委員として、関西大学の壺井基裕氏が選出され、異議無く承認された。

#### 7. 2020 年度 支部事業計画案

永井庶務幹事より、資料 No.16 に基づき、2020 年度の常任・幹事会ならびに各種講習会のスケジュールについて説明があった。なお、7/17 の常任・幹事会については、会場について検討中であることが説明された。

#### 8. 2020 年度 支部予算案

高原会計幹事より、資料 No.17 に基づき、本年度予算案の説明がなされ、異議無く承認された。また、交通費の支払い方法について、事務局の負担状況を鑑み、今年度実施した

一括対応ではなく、常任・幹事会毎に対応することとし、さらなる事務局負担軽減案として、各事業の支出のチェックシートの作成が説明された。それから、提案公募型セミナーの予算については、源泉徴収額を含めることが確認された。

## 9. その他

### (1) 合同事務局運営委員会報告

資料 No. 18 に基づき、茶山支部長から、人件費ならびに事務所費の負担割合を5年毎に見直しており、第2回合同事務局運営委員会において、負担割合は現状維持となることが報告され、事務局と連携しながら業務負担の効率化を検討していくとの説明がなされた。

### (2) 2020年度代議員候補者推薦について

茶山支部長より、役員選考委員会において、近畿支部の推薦として分野の偏りが無い様に18名の代議員が選考されたことが報告された。

### (3) 2020年度 学会賞等各賞候補者推薦の件

茶山支部長より、学会賞等推薦委員会の検討の結果として、奨励賞に4名、技術功績賞に企業から1名、女性 Analyst 賞に2名、先端分析技術賞 (JAIMA 賞) に1名を推薦することとし、学会功労賞については推薦者なしであったとの報告があった。

### (4) 共催、協賛など

幹事会資料 No. 19 に基づき、茶山支部長より、X線分析研究懇談会第270回例会についての説明があり、協賛について承認された。

以 上